

病院で働く 医療のプロフェッショナル

病院では、治療を行う医師や看護師をはじめ、さまざまな職種のスタッフが働いています。その多くは専門性の高いスキルや知識が必要で、国が認める国家資格を有していなければ就けない職種がほとんどです。日進月歩の現代医療に携わる仕事であるために、常に専門知識を磨く努力をする必要があります。また、一人の患者さんに複数の医療スタッフが連携して、治療やケアを行う「チーム医療」にも取り組んでいます。

臨床工学技士の仕事について

Interview

～検査科 臨床工学技士・森山 博之 (17年目)～



FILE:07

臨床工学技士という職業を選んだきっかけは？

元々医療系の職に就こうと考えていたところ、高校の担任に紹介され興味を持ったのがきっかけです。当時はまだどんな仕事をするのか全く分からなかったので減多に行かなかった図書室で調べたのを覚えています。なじみがなくマイナーな職種ですが、仕事内容が分かってくるとますます興味を持つようになりました。どこの学校の何科にいけばいいのかも全く分からない状況でしたが、我ながら良い進路を選んだなと思います。

雲南病院で働こうと思った理由は？

学校を卒業してから少しの間は他の病院に就職していましたが、ある程度どこでも通用するだけのキャリアを身につけることができたので違う環境で仕事がしたいと考えるようになり、地元の医療にこれまでのキャリアを役立てたいと思いました。

どんな仕事をしていますか？

臨床工学技士の業務は、ME機器（輸液・シリンジポンプ・人工呼吸等）の操作、保守・点検、管理をしています。また、医療機器安全管理責任者として院内の医療安全管理委員会やカンファレンスにも参加しており、以前は手術室での機械操作などもしていました。透析センターでは、患者さんの移乗や血圧測定、機械操作、透析用留置針の穿刺、時にはエコーを使ったリシーツ交換をしたりと、ほとんどの業務を看護師と協力して行っています。

雲南市立病院で働いてみての感想は？

雲南市の人たちは皆さん優しいですね。知らない人でもあいさつし合えるというのは素晴らしいことだと思います。人と人のつながりを実感できるだけでも雲南市立病院で働く意義があると思います。

今後どのような臨床工学技士になりたいと 思っていますか？

現状で満足することはないので新しいことは積極的に取り組み、枠にとらわれることなくチーム医療に協力したいです。職業上機械を見ることが多いですが、その先には患者さんがいるということをお忘れずに、高度化する医療を支える縁の下の力持ちでありたいと思います。

臨床工学技士の仕事のやりがいを教えてください。

機器のメンテナンス後に数値が抜群に良かったときは嬉しいですね。どこに出しても恥ずかしくないという感じで、自信を持って現場にお返しできます。

透析治療を終え、無事に帰っていただき、2日後また来ていただくという当たり前のことを続けられるよう努力しています。



▶透析開始前の設定・点検



◀透析装置内部の部品交換業務

インフルエンザの基礎知識

- インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。
- 注意すべきはA型とB型で、集団感染や流行を引き起こします。
- 潜伏期間1～4日(平均2日)。発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛、咽頭痛、咳や鼻汁などの上気道炎症が、約1週間の経過で軽快します。
- 周囲への感染期間は症状出現から発症後7日程度。最も感染力が強いのは発症初期の3日間です。
- 感染した人の咳やくしゃみでウイルスが拡散され、その飛沫を吸い込むことにより感染します(飛沫感染)。また、ウイルスが付着したところに触れた手で、顔面(目や口、鼻)の粘膜表面を触ることで感染します(接触感染)。



インフルエンザが流行する季節となりました。ただでさえ感染力が強力なインフルエンザ。家族1人でもインフルエンザになると一気に家族全員が感染する危険性が高まります。まずはインフルエンザを理解し、そして家族全員で正しく予防しましょう。

家族で取り組むインフルエンザ対策

雲南病院だより

インフルエンザに感染してからでは遅い！ 家族でできる予防と対策とは…

ワクチンの接種

流行期に入る前にワクチンを接種することで、インフルエンザの発症をある程度抑えることができます。また、重篤な合併症を予防し健康被害を最小限にする効果があります。



栄養と休養

日ごろから栄養のあるものをバランスよく食べて、疲れを残さないように十分な睡眠をとり、免疫力を落とさないようにすることが重要です。



(外出時)

マスクをつける

- 鼻と口をしっかりと覆い、隙間がないように着用することがポイント！
- マスクの表面にはインフルエンザウイルスが付着している可能性があるため、マスクを外すときはマスクの表面を触らないようにゴム紐を持って外しましょう。



小まめに手を洗う

- 手すりやドアノブなど人がたくさん触るところにはインフルエンザウイルスが付着している可能性があります。スーパーやショッピングモールの入り口などに設置してある手指消毒アルコール製剤を有効に使用しましょう。
- 帰宅したら、流水と石けんで手をまんべんなく洗いましょう。

(自宅)

温度(21℃以上)と湿度(50～60%)を調整する

- インフルエンザウイルスは高温多湿の環境では生存しにくいと言われています。
- 寒い時期でも時々換気する
- 換気をして汚れた空気と新鮮な空気を入れ替えましょう。
- 掃除でダニ、ホコリを除去する
- ダニやホコリにウイルスが付着している場合がありますので掃除でキレイにしましょう。
- また、人がよく触るところ(ドアノブ、手すり、テレビのリモコン等)を拭き掃除用洗剤等を用いてキレイにします。

インフルエンザにかかってしまったら

『咳エチケット』を行う

- 自分から感染が広がるのを防ぐために、咳やくしゃみが他人に直接かからないようにすることを咳エチケットと言います。
- インフルエンザの人がマスクを着用し咳エチケットを行うことで、周囲への感染がかなり減少します。
- インフルエンザにかかったかもしれないときは、咳エチケットを行い、マスクを着用し医療機関を受診しましょう。
- インフルエンザの検査は発症から概ね12時間以上経っていないと、正確な診断ができません。夜中に急に発熱したからと言って、急いで医療機関を受診する必要はありませんので、まずは電話で相談ください。



「インフルエンザに伴う面会制限について」

1月9日より当面の間、面会をご家族の方のみに制限しています。入院患者さんをお守りするため面会時はマスクの着用と手指消毒をお願いします。
※面会許可証が必要です。スタッフルームで手続きください。

はじめまして、特定行為研修修了生の
あおきゆうこ
青木裕子と申します。



団塊の世代が75歳以上に達し、4人に1人が後期高齢者の超高齢社会となってきています。

今、医療依存度が高く増えていく中、厚生労働省は医療提供の改革が必要と考え、その一つとして**特定行為に係る看護師の研修制度***を平成27年に導入されました。

雲南病院に勤め14年が経ちますが、当院においても高齢の方が多く、医師の数も十分ではない状況に対応に追われ、今この患者さんに必要なことが今提供できないというジレンマを感じる場面が多々ありました。そのような中で、病院より特定行為研修の話があり、少しでも患者さんや病院の助けになればと思い、病院より支援いただき、栃木県で1年間研修を受け、

昨年の9月に修了生となりました。研修を修了した看護師が手順書のもとで行える医療行為は21区分38行為ですが、私は7区分12行為を受講しました。

当院においては初めての修了生、未知の分野での活動で不安もあります。現在は、研修中にクリアしてはいますが、当院の医師にも手技の確認、臨床判断能力の向上に向けての指導を受けています。まずは患者さんの安全を第一に考えながら活動していきたいと思えます。また、看護師は患者さんに24時間寄り添う身近な存在です。そのような看護師の特性も活かし、患者さんの病態の変化などにいち早く気づき、必要な対応をしていけるよう、日々学びを深めながら活動していきたいと思えます。

※特定行為に係る看護師の研修制度とは

2025年に向けて、さらなる在宅医療の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師または歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助を行う看護師を養成し、確保していく必要があります。このため、その行為を特定し、手順書によりそれを実施する場合の研修制度を創設し、その内容を標準化することにより、今後の在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していくことが、本制度創設の目的です。



▲壊死組織の除去



▲身体診察



▲直接動脈穿刺法による採血 など

平成30年度 島根県がんピアサポーター相談会
「がん治療経験者と話してみませんか？」

日時 2月19日(火) 9時30分～11時30分

会場 雲南市立病院 1階 相談室 (総合受付横)

対象者: がん患者さん・ご家族など

- ★ 受診されている医療機関に関わらず相談会に参加できます。
- ★ 事前に相談会参加予約もできます。まずは電話で連絡ください。
- ★ 相談無料・秘密厳守

※がんピアサポーターとは? 「がんピアサポーター」は所定の研修を修了したがん治療経験者です。

相談会では、がんピアサポーター*が二人一組でお話を伺います。ぜひ気軽に参加ください。

がん治療中です。他の人はどんな気持ちで過ごしているんだろう?



～問い合わせ先～
雲南市立病院 地域連携室 ☎(0854) 47-7520
島根大学医学部附属病院 がん患者・家族サポートセンター ☎(0853) 20-2545

新本館棟 紹介

透析センター (2階)

地域医療 日本一をめざし 頑張ります!

透析センターは、医師・看護師・臨床工学士と協働でチーム医療を行っています。昨年3月の新本館棟オープンに伴い、新本館棟2階の西側へ移転しましたので紹介します。

今回の移転に合わせ、人工透析機器も最新の機器を導入し、コンソール(透析用監視装置)が1台増え、14台になりました。昨年8月からより患者さんに優しい透析治療ができるよう、水質管理を整えて**オンライン透析***を開始しています。

透析センターには各ベッドにそれぞれ液晶テレビが備え付けてあります。患者休憩室のラウンジは畳のエリアもあり、休憩や食事もでき、食事は注文もできるようになっています。

診療時間は、月・水・金は午前午後の2クール、火・木・土は午前の1クールです。その他24時間CHDF(持続緩徐式血液濾過透析)や夜間・休日の緊急透析、旅行・出張時のゲスト透析にも対応しています。

昨年12月には、雲南圏域初のFNW(透析通信システムフューチャーネットワーク)を導入しました。FNWは、パソコン、透析装置、体重計が連動しており、パソコンで入力した情報を共有し送信すると患者さんの情報や透析条件などが透析装置に表示されます。透析記録は電子カルテ上でも表示確認できます。

FNWの導入により転記・計算・設定・入力が自動でできることにより、より安全安心な最新の透析治療へとつながりました。

私たちはこれからも安全安心で丁寧・迅速かつ明るいアットホームな雰囲気を心掛け努力していきます。



▲小池千明医師と透析スタッフ



▲井上圭太医師と透析スタッフ

※オンライン透析とは・・・

患者さんの体に負担の少ない優しい透析を行うことが可能で、優れた臨床効果が得られ、従来の透析療法の欠点や問題点を解決することができる新しい治療方法。



最新の100N Xのコンソール

